

道心



改歳之令辰

祈り（仏教の目指すところ）

諸悪莫作 諸々の悪を作すことなく

衆善奉行 衆の善を奉行し

自浄其意 自ら其の意を浄うする

是諸仏教 是れ諸仏の教えなり

皆様のご健勝をお祈りし、
相変わらずのご厚誼を
お願い申し上げます。

平成二十一年己丑元旦

日光山 禅昌寺

住職 横山正賢 合掌



今年は「己丑」「つちのと」とは己のことで、「己」といつのは物事の中心を言つのです。陰陽五行思想と云つて中国の自然観の基となつていて、考え方です。五行とは木火土金水を言います。木が火を起こし土と変じて、金を生み、水を呼ぶ・水は木を育み、火を起こし土地を作つて金を生んで水を呼ぶといふ巡り合わせを言つのです。干支で申しますと「戊己」と言つて五行の真ん中の「土」に当たるから、物事の中心と言つことになるわけです。

この事を私に当てはめて考えますと七十二歳干支が六巡目の年となる私は、自分の中に、お前に授けられている命の限りを尽くして生きて来たかと問いつめる己がいます。

生まれ落ちた日本という自然に恵まれ、何よりも、過酷であつたであろう時代を耐えながら、己に命を伝承してくれた祖先、破産や時代変革の中で貧困を経験した祖先が残した生き様までが今の私を育てていることを思います。

先生や学友に恵まれ・仏道修行にあつては多くの導師や道友に恵まれたこと。

何よりも今禅昌寺の護持に携わつている、寺の役員さん始め、檀信徒皆様、我がこととして黙々と境内・伽藍の掃除・管理に携わつている職員の方皆さん・私の出会つた人々・事事・物物に活かされていることを思つと、己は如何かと問われるのであります。

順風満帆の人生そんなにあるわけではありません。今思ひますと障害となつた出来事も、行き違つた人間関係も、これも又己が活かされる知恵と力となつたことを思ひます。

土地は清も濁も合わせ呑み込み有機物に依つて肥やされて「金」を呼ぶ肥沃な土壌は水を含んで作物や自然界を潤し、豊穰を生みま

す。しかしその土地も過剰に腐葉土が堆積しますと自然破壊に繋がると言われます。

私にとつて六巡目の干支が「己丑」と言つことは、今後の生き方に過去の数え切れない出会いに感謝報恩を実践することが促されている思いであります。

嫁が君

廿日市市 伊藤順一郎

三十年も前の話

当時私は、見知らぬ山地に入植し、養鱒場建設の途路にあってまだ独身であった頃の事、禅昌寺はくるめ木にあって、坐禅会に参加しだしてまた間もなかつたと思つた。

ある夜、一人山中のプレハブ小屋で坐禅を組んでいた折りのこと。

谷川の瀬音が身を透り抜けてゆくように静けさが深まるばかりであった。と、何やら畳の上をカサカサと歩く音が聞こえたと思う間もなく半眼の視界に一匹のネズミが現れた。

チヨロチヨロと動き回りながら何を思ったのであるか私の膝の上に登ってきたのだ。

体温の温みが恋しかつたのであるか少時間這い回っていたが、やがて何処かへ消えて行つた。

思わずニヤリと笑ってしまったのは坐禅に集中が足らなかつたのだつた。

これ以後、私は坐禅に悟りを得ようなどとは思わなくなつた。

早くも心身落悟者となつてしまつたのであつた。

坐の膝に来て去りにけり嫁が君

(「嫁が君」とは正月のネズミを言ふ)

道心趣味の会

短歌

戦国のつわものどもの夢はるか
周防の寺にしんと静まる

人生の第四楽章に入るわれは

シヨパンのソクタン底深く聞く

俳句

東区 矢野 淑子

裸木となり安心を得たりけり

初風や並んで浮かぶ潜水艦

その昔 鯨の夢は 飛行船

又二ノカー 履き平成つ子竹馬に

落葉踏む 足音の他 誰も居ず

廿日市市 伊藤 順一郎

禅寺は 全山紅葉 端坐する

参禅と 写経に 込めし 歳行く日

大初日 わが 胸内を 燃えたす

東区 青世 俊枝

行事報告 (十月～十一月)

檀信徒交流、出雲路とカニ料理の旅

十一月十六日(日曜日)

四十名のご参加があり楽しい懇親の旅となりました。

臘八摂心坐禅会

十二月一日～八日朝まで毎坐数名の参加者で勤めました。

年末大掃除

十一月七日(日曜日)午後一時半よりご家族すれの方もあり和気藹藹の大掃除となりました。出席者にはお寺から、「福著」が配られました。

平成二十年度行事案内

年頭坐禅会・大般若祈祷会

坐禅会 一月一日 午前八時より

大般若祈祷会 元日 午前十時より

釈尊涅槃会 一月十五日(日)

青山俊董老師講演会 一月十八日(土)

午前の部 午前十時半～十二時

午後の部 午後一時半～三時

(坐禅をされるお方は九時より)

参加費 午前・午後 各千円

昼食代 一人 百円

昼食が必要な方は電話にてお申込み下さい。

春季彼岸法要・護持会総会

三月十四日(土)

午前十時半より法要・法話

十二時より護持会総会・懇親会

春季彼岸会 三月十七日～二十三日

釈尊降誕会 四月八日(水)

西國三十三ヶ所霊場巡り

日程 四月十八日(土)～十九日(日)

費用 参万円程度

孟蘭盆会法要

八月六日 午前十時半より

秋季彼岸会 九月二十日～二十六日

青山俊董老師講演会

九月三十日(水) 午前・午後
「Tsukimi-ji 寺」コンサート
十月三日(土) 予定

西國三十三ヶ所観音霊場巡り
日程 十月二十四日(土)～二十五日(日)
費用 参万円程度

年末大掃除 十二月六日(日)
釈尊成道会 十二月八日(火)

毎月定例行事

日曜坐禅会

毎月第一日曜日 午前九時より

上田宗箇流茶道稽古日

毎月一回 第二又は第四金曜日の予定 午後一時から

お抹茶と和菓子を楽しみむつもり

でご参加下さい。

御詠歌の会

第一金曜日午前十時より自主練習

第四金曜日午前九時より講師を招いて練習 昼まで

毎週定例行事

暁天坐禅会 月曜日～金曜日

毎朝午前五時三十分～六時十分まで

水曜坐禅会

午後七時より坐禅・茶話会 終了八時半

婦人坐禅会 毎週金曜日

午後一時より坐禅・茶話会終了三時

(第一金曜日のみ坐禅の後、写経・茶話会)

原稿募集

皆様の随筆、旅行記、体験談、趣味の短歌俳句など何でも結構です。お寄せ下さい。